

社会福祉法人

岸和田市社会福祉協議会

平成26年度事業報告書

社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会 平成26年度事業報告

1. 基本目標

誰もが安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくり

2. 重点項目

①地域包括ケアシステムの構築

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しました。

②災害ボランティア活動支援体制の整備

災害ボランティアセンター設置・運営の手引きを活用し、被災時のシミュレーションを実施するなど、災害時に備えた支援体制を構築に向けた取り組みを行いました。

③経営課題への取り組み

収支バランスの安定や将来の事業展開など、経営課題の解決に向けて取り組みました。

事業実施計画：平成26年4月1日～平成27年3月31日

推進項目	事業名	事業目的	事業概要
法人運営	法人運営事業	法人の健全運営のため、理事会・評議員会の開催を行うとともに、各種会議の開催、調査などを行いました。	<p>(1) 諸会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①理事会・評議員会の開催（各4回実施） ②正副会長会議（4回実施） ③経営検討委員会の開催（4回実施） <p>(2) 組織構成会員制度の拡大 組織構成会員の啓発及び募集 組織構成会員 17団体 150,000円</p> <p>(3) 監事の監査（1回実施）</p> <p>(4) 事務局体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プロジェクトチームの編成（福祉まつり、広報、経営検討） ②災害時職員行動マニュアルの改訂 ③職員防災訓練の実施（1回実施） <p>(5) 財政基盤の増強</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員会費制の増強 <p>一般賛助会員 4,300名 5,218,000円 特別賛助会員 274団体 2,390,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ②共同募金運動の強化（配分金事業の検討） <p>(6) 調査・研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種アンケート調査の実施 <p>(7) 生活困窮者支援への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活困窮者支援についての検討（平成27年度より受託） ②岸和田市学習支援事業【養育支援】の実施 （100日間開催 延べ290名参加）

善意銀行	善意銀行事業	寄付の受付及び払出しを行うとともにホームページ等で事業の啓発を行いました。	<p>(1) 善意銀行事業の運営</p> <p>①寄附の受付（一般寄付 49 件 3,151,003 円、指定寄付 13 件 342,790 円、物品寄付 14 件）</p> <p>②払出し（助成）2 件 505,000 円</p> <p>③事業の啓発（社協だより、ホームページ）</p>
資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業 小口生活資金貸付事業	低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯が地域において安定した生活が送れるよう生活福祉資金貸付による支援を行うとともに、支援が必要な人への総合的な支援が行えるよう、関係機関と連携し、事業を運営しました。	<p>(1) 貸付</p> <p>①各種貸付金の貸付業務の実施。 総合支援資金 10 件 2,719,000 円、教育支援資金 47 件 26,539,000 円 小口生活資金 8 件 758,000 円、臨時特例 4 件 400,000 円</p> <p>(2) 啓発、相談・支援</p> <p>①関係機関との連携による効率的な運営 （研修会の実施、情報交換の場の設置、修学資金説明会の実施）</p> <p>②失業や病気など困難を抱える人々の相談・援助活動の実施</p>
共同募金	共同募金配分金事業	各種募金の実施及びチャリティーバザーを実施し、募金額の増額に取り組みました。	<p>(1) 大阪府共同募金会岸和田地区事務局を担当</p> <p>共同募金の実績額 11,831,144 円 （戸別 5,777,040 円 学校 185,679 円 街頭 815,836 円 法人 1,963,868 円 バッジ 2,517,500 円 その他 571,221 円）</p> <p>岸和田地区募金会の運営・強化</p> <p>・赤い羽根チャリティーバザー 12/7 160 人参加 実績額 136,700 円</p>

<p>地域福祉活動</p>	<p>地区福祉委員会事業 小地域ネットワーク 推進事業</p>	<p>住民が主体となって行う福祉活動に対し、情報提供や研修等を通じて支援しました。</p>	<p>(1) 活動支援</p> <p>①各地区への活動助成 (24 校区、1,279 万円)</p> <p>②情報提供・組織の整備</p> <p>地区福祉委員会活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別援助活動ネット対象者数 3,162 人、ボランティア 1,237 人 ・グループ援助活動参加者数 56,138 人、ボランティア 2,002 人 <p>③きんきゅうカードの交付 (3,790 名に配布)</p> <p>*対象：個別援助活動対象者、独居高齢者など</p> <p>(2) 各種会議・研修会の開催</p> <p>①地区福祉委員会連絡会の開催 (年 2 回、延べ 122 名参加)</p> <p>②地域福祉活動研修会の開催 (年 1 回、65 名)</p> <p>(3) 活動啓発</p> <p>①地区福祉委員会活動記録集の作成 (ネット配信のみ)</p> <p>②福祉掲示板の設置による福祉関係情報の提供 (今年度配布なし)</p> <p>累計 325 基</p> <p>③社協だより「かわら版」への活動紹介 (年 6 回掲載)</p> <p>④電子媒体 (ホームページ・フェイスブック等) による活動紹介</p> <p>(4) 活動の連携</p> <p>①地域支援専門職ネットワーク会議の開催 (事務局)</p> <p>社協地区担当者、CSW、地域包括支援センターが各圏域単位で連携を図ることを目的に開催 ※ () 内は構成員数</p> <p>*全体会：年 1 回開催</p> <p>*市中核圏域 (9 名)：年 8 回開催 * 久米田圏域 (7 名)：年 7 回開催 * 葛城の谷圏域 (5 名)：年 12 回開催 * 中部圏域 (6 名)：7 回開催 * 北部圏域 (7 名)：年 11 回開催 * 牛滝の谷圏域 (7 名)：年 11 回開催</p> <p>②地域あんしんネットワーク会議の開催 (事務局)</p>
---------------	---	---	---

地域福祉推進事業

福祉制度外のサービスの推進、セルフヘルプグループの支援、住民へ福祉の理解を深めるための各種事業を実施しました。

(1) 在宅福祉推進事業

①おせち料理配食事業 12/30 に配食 (1,367 食)

②配食サービス事業の受託 (朝陽、大芝)

朝陽 : 2,848 食 (年間)、ボランティア 1,265 名 (年間)

大芝 : 1,388 食 (年間)、ボランティア 575 名 (年間)

*大芝地区は夏・冬休みに小学生 80 名がボランティアとして参加

(2) 当事者組織支援事業

①岸和田市介護者家族の会「みずの輪」の支援及び活動助成

定例のつどい年 19 回開催、延べ 330 人参加

総会 (年 1 回 75 名参加) ※会員数 80 人 (平成 27 年 3 月末現在)

②ひきこもり支援事業の推進

*OP 'S 岸和田相談件数 : 18 件 (うち就労決定者 : 2 名)

*出張有償就労訓練 : 年 8 回実施、計 82 名参加

*ジョブカレッジきしわだ : 年 2 回実施、計 11 名参加

③障害者等の就労訓練の推進

受け入れ人数 : 10 人 (福祉センター、東光デイサービスセンター)

<障害者種別>

知的障害者	精神障害者	その他
4	5	1

(3) 福祉教育推進事業

①福祉教育推進校に対する活動支援及び活動助成

(小学校 24 校、中学校 11 校)

車椅子体験、アイマスク体験等 延べ 29 回を活動調整

②福祉教育推進校担当者会議の開催 年 2 回、延べ 68 人参加

③福祉教育基礎研修会・人権教育研修会を開催 120 名参加

④小・中学校に向けた赤い羽根キッズ教室の実施 5 校実施

	<p>移送サービス事業</p>	<p>福祉車両を使用し、外出時に車いすが必要な人の外出を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 福祉車両による対象者の送迎（年間 202 件） (2) 移送ボランティア養成講座の実施（年 1 回） (3) 事業の周知 <ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー・相談支援事業所等へ周知 (4) 移送ボランティア交流会の開催（年 3 回） <ul style="list-style-type: none"> 運行状況の報告・運転技術の確認、向上
--	-----------------	---	--

<p>市民活動支援</p>	<p>ボランティア活動事業</p>	<p>市民参画による地域課題の解決を目指し、ボランティアコーディネーター及び活動者支援、人材育成・啓発事業等を行いました。</p> <p>また、災害時に地元のスムーズな復興に寄与することを目的とし、各種関係機関・団体と協働で災害時ボランティア活動支援体制の整備を行いました。</p>	<p>(1) ボランティアセンター運営委員会の定期開催 (3回 31名参加)</p> <p>(2) ボランティアコーディネーター</p> <p>①ボランティア相談受付 (活動希望者・募集希望者)</p> <p>②ボランティアアドバイザーの配置 (3名 相談件数 6件)</p> <p>(3) ボランティア・市民活動支援</p> <p>①既存の活動実践者の活動支援・協働実践のコーディネーター 相談件数 来所 2,765件 電話相談 2,987件</p> <p>②ボランティア連絡会の運営支援</p> <p>(4) 人材育成事業</p> <p>①各種ボランティア講座の開催 (11講座 開講日数 133日 延べ参加者人数 1,941名)</p> <p>②NPO学習会の開催と相談受付 (セミナー年7回 延べ118名参加)</p> <p>③ボランティア体験プログラムの実施 (受入施設・団体 49 延べ参加者数 130名)</p> <p>④福祉施設ボランティアコーディネーター育成支援 (1回 34名)</p> <p>(5) 調査・研究事業 企業との連携強化に向けたアンケート調査 (回答件数 550件)</p> <p>(6) 広報・啓発事業</p> <p>①ボランティア情報紙の発行 (年4回)</p> <p>②ボランティアサロンの開催 (年6回 延べ参加者数 409名)</p> <p>③ボランティアアドバイザー企画 (年1回 87名)</p> <p>(7) 防災対策事業</p> <p>①きしわだ災害ボランティアネットワーク会議の開催 (年7回 99名参加) ※高島市社協への視察を実施 (14名参加)</p> <p>②災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施</p> <p>③災害時市民ボランティア・防災教育ボランティアの育成と活動支援</p> <p>(8) 自助具製作事業 (延べ51件製作)</p>
---------------	-------------------	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">指定管理業務</p>	<p>福祉総合センター運営管理事業（指定管理者）</p>	<p>高齢者、障がい者の継続的な社会参加ができる機会の場合また、生きがいづくりやふれあい交流の場となるよう、各種講座を開講しています。今年度も、より多くの高齢者や障がい者が、多様な学習に参加できる活動の拠点施設として活用されるよう、様々な福祉情報の発信に努めました。</p> <p>また、利用者への定期的なアンケート調査を行い、必要な講座の企画やニーズを把握し、全市的な福祉の活動拠点施設として運営を行いました。</p>	<p>(1) 福祉総合センターの運営管理</p> <p>①運営委員会の開催 年1回開催、10人参加</p> <p>②貸し室の申し込み受付、施設の維持管理 団体利用状況年間 117,306人、個人利用状況年間 25,465人</p> <p>③福祉の庭園、植物園の管理</p> <p>④高齢者・障がい者の就労実習（体験）受入れ及び営繕業務での就労の場の提供</p> <p>(2) 各種講座の開催</p> <p>①福祉センター講座・特別講座の企画（年1回）</p> <p>②各種講座、相談の実施（年間延べ人数） （健康運動講座 4,925人、身体障害者体力維持講座 758人、料理講座 438人、茶道講座 689人、華道講座 733人、書道講座 595人、陶芸講座 470人、民謡講座 450人、視覚障害者ヨガ講座 22人、障害児ねんどあそび講座 50人）</p> <p>③ボランティア養成講座（点字、手話、朗読、要約筆記、拡大写本、視覚障害者PCサポート）の開催</p> <p>④健康相談 252人、スポーツ健康相談 25件</p> <p>(3) 各種大会、クラブ活動の支援</p> <p>①各種大会の開催（囲碁大会、老人卓球大会、ゲートボール大会）</p> <p>②クラブ活動への支援（老健クラブ、囲碁クラブ、書道クラブ、陶芸クラブ）</p> <p>(4) 啓発</p> <p>①福祉まつりの実施（11/9） 800人参加</p>
---	------------------------------	--	--

	<p>高齢者ふれあいセンター 朝陽運営管理事業 (指定管理者)</p>	<p>高齢者を対象に教養講座や講習会の開催、クラブ活動の場の提供等により、社会参加を促進するとともに、利用者の仲間づくり、生きがいづくりを支援し、地域に根付いた高齢者の活動拠点としての施設運営を行いました。</p>	<p>(1) 高齢者ふれあいセンター朝陽の運営管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ①運営懇談会の開催 年4回、延べ42人参加 ②利用者アンケートの実施 年1回、167人回答 ③施設利用状況 <ul style="list-style-type: none"> 個人利用状況 13,918人(年間) 団体利用状況 425団体、6,699人(年間延べ) <p>(2) 事業の周知、啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ふれあい朝陽新聞の発行(年4回) ②ふれあいセンター「朝陽まつり」の開催 12/7 250人参加 <p>(3) 講座、教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高齢者健康体操講座 年30回、583人(年間延べ) ②ふれあい教室「うた」年11回、477人(年間延べ) ③ふれあい教室「レクリエーション」年9回、155人(年間延べ) ④ふれあい教室「ガーデニング」年2回、45人(年間延べ) ⑤誰でもできる手縫い教室 年2回、35人(年間延べ) <p>(4) 各種大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①バンパー大会 年2回、30人(年間延べ) ②ふれあいシアター 年6回、30人(年間延べ) <p>(5) 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地区市民協議会、福祉委員会への参加 ②朝陽地区配食サービス事業の拠点運営 <p>(6) 災害時避難訓練の実施 年1回職員を対象に実施</p>
--	---	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域包括支援センター</p>	<p style="text-align: center;">地域包括支援センター 受託事業</p>	<p>2圏域（都市中核、久米田）の業務委託を受け、他の地域包括支援センターとの連携及び情報交換等を図る統括センター（都市中核）としての事業を推進しました。</p> <p>地域包括ケアシステムを充実するために、地域で密着した支援ができるように努め、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、保健師・看護師、主任ケアマネージャー、社会福祉士が連携し、介護・福祉・健康などの様々な相談に対応しました。</p> <p>また、地域住民や関係機関、専門職との連携及び情報交換の場を持ち、住民の保健福祉の向上を目指し、職員間の「報告・連絡・相談」を徹底し、より質の高いサービスを地域住民に提供できるように努めました。</p>	<p>(1) 地域包括支援センターの受託運営</p> <p>①市内地域包括支援センターの統括（都市中核）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地域包括支援センターの連携及び統括 （基幹センターとして他法人の地域包括支援センターの統括を実施） ・市関係課との連携（随時会議等を通じて連携） <p>②介護予防マネジメント業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次予防事業対象者の選定（都市中核 2,103 件、久米田 0 件） ・介護予防プランの作成（都市中核 18 件、久米田 0 件） <p>③総合相談業務の実施（都市中核 2,881 件、久米田 2,583 件）</p> <p>④権利擁護に関する業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待相談窓口の実施 ・高齢者虐待防止、早期発見の対応業務（実務者会議を年 12 回開催） ・高齢者虐待防止ネットワークの運営（代表者会議を年 1 回開催） ・成年後見制度利用支援の実施 <p>⑤包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員への日常的個別指導、相談、研修会の開催 （相談件数：都市中核 17 件、久米田 14 件） （研修会：都市中核 0 回、久米田 8 回、全体 2 回） ・介護支援専門員を含む地域のネットワークの構築（医療と介護の連携会議年 12 回、認知症ネットワーク会議年 12 回、主任ケアマネ会議年 6 回） ・地域ケア会議の開催（都市中核年 2 回、久米田年 1 回） ・医療と介護の連携体制構築（医療と介護の連携会議年 12 回開催） （医療と介護の連携のための研修 全体 3 回、都市中核 3 回、久米田 2 回） ・岸和田市介護保険事業者連絡会への参画 （運営会議への参画、研修会等の企画・運営） <p>⑥介護予防事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する普及啓発（高齢者サロン等で実施）
---	--	---	---

	<p>居宅介護予防支援事業</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自立した生活が継続できるよう、自立支援を目的とした介護予防計画を作成するとともに、福祉サービス事業者との連携や地域の社会資源を活用しながら、総合的な介護予防を行うことができるように努めました。</p>	<p>(1) 指定居宅介護予防支援事業所の運営</p> <p>①介護予防プランの作成 (直プラン：都市中核 1,719 件、久米田 1,094 件)</p> <p>②居宅介護支援事業所へ委託したプランについて支援、指導および進捗状況の把握 (委託プラン：都市中核 3,301 件、久米田 2,098 件)</p>
--	-------------------	---	--

<p>権利擁護センター</p>	<p>権利擁護センター事業</p>	<p>日常生活自立支援事業、成年後見制度に関する相談支援、法人後見事業、市民後見人養成および活動支援を行い、岸和田市における権利擁護支援体制の推進にあたりました。</p> <p>また、なんらかの支援が必要な人の孤立を予防し、社会参加と自立支援を目的に、居場所づくり事業の企画、運営を行いました。</p>	<p>(1) 日常生活自立支援事業 (契約件数 231 件 内訳：認知症高齢者 124 名、知的障害者 43 名、精神障害者 64 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉サービスについての情報提供、助言 ②福祉サービス利用手続きの代行 ③日常的な金銭管理 ④通帳、印鑑等の預かり（保管） ⑤事例検討会の実施 ⑥成年後見制度への適切な移行支援 <p>(2) 成年後見制の利用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①成年後見制度に関する相談支援や申立て支援 ②権利擁護支援検討会議の実施（12 回開催） ③権利擁護に関する研修・セミナーの開催 （市民向けセミナー1 回、専門職向けセミナー2 回） <p>(3) 法人後見事業の運営 （受任件数 12 件 内訳：後見 10 名、保佐 1 名、補助 1 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①受任事案についての後見活動 ②事業運営委員会（2 回開催）、受任審査会の開催（2 回開催） <p>(4) 市民後見人養成及び活動支援（受任件数 9 件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民後見人活動の相談支援、助言（専門相談 27 回実施） ②市民後見人バンクの管理、運営 ③市民後見人バンク登録者研修会、交流会実施（年 7 回） ④市民後見人養成講座の開催 <p>(5) 居場所づくり事業の運営（利用者数 110 人、実数 40 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居場所づくり事業の企画・運営 ②高齢者・障害者の就労実習の企画・調整 <p>(6) 生活支援専門員および生活支援員の配置（専門員 5 名、支援員 7 名）</p>
-----------------	-------------------	---	--

<p>介護保険事業</p>	<p>やすらぎ東光通所介護事業</p>	<p>要介護・要支援状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並びに家族の心身の負担軽減を図りました。</p> <p>また、関係機関との綿密な連携を図り、利用者様の自立した在宅生活の支援を行いました。</p>	<p>(1) やすらぎ東光デイサービスセンターの運営（保健センター内）</p> <p>①週5日開所、サービス時間5～7時間型、利用定員35名 （開所日数：243日、通所介護利用者述べ人数5,896人）</p> <p>②介護予防通所介護事業の実施 （開所日数：243日、介護予防通所介護利用者延べ975人）</p> <p>③岸和田市介護保険事業者連絡会への参画 （研修会4回、交流会2回、運営会議4回）</p> <p>④行事、レクリエーション、制作等プログラムの実施 （お花見、七夕会、納涼会、運動会、クリスマス会、喫茶レク、外食レク、鍋レク、七夕飾り制作、事業者連絡会作品展出品 等）</p> <p>⑤やすらぎ東光だよりの発行（第30～42号毎月発行）</p> <p>⑥ボランティア、実習生等の受け入れ （個人ボランティア延べ137人、ボランティア体験プログラム延べ2人、久米田中職場体験延べ4人、就労支援実習延べ9人）</p> <p>⑦通所介護計画書、利用状況報告書の作成 （通所介護計画書→随時作成、利用状況報告書→毎月末作成）</p> <p>⑧デイサービス事業の運営方針の検討</p>
---------------	---------------------	---	---

<p>居宅介護支援事業 (ケアプラン岸和田市社協)</p>	<p>介護(予防)を必要とする市内の高齢者等が、居宅において日常生活を営むために必要な保健医療サービスまたは福祉サービスを適切に利用できるように、社会福祉協議会の特性を活かし、地域との連携を図ったケアプラン作成に取り組みました。</p>	<p>(1) ケアプラン岸和田市社協の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①居宅介護支援事業(介護計画作成、給付管理及び相談援助) ②事例検討会議等の開催(月4回実施) ③介護支援専門員専門研修等への参加 (専門研修課程Ⅱ修了者1名、主任介護支援専門員修了者2名) ④特定事業所加算の取得 <p>(2) 人員体制・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護支援専門員7名(常勤7名)体制による公平中立な立場で、自立支援につながる適切な介護計画の作成 ②月190件の介護計画作成(年間介護計画作成数2,229件 予防計画作成数234件:月平均205件)
<p>ふれあい朝陽通所介護事業</p>	<p>要介護状態となった場合においても、利用者様が可能な限り在宅で、自立した日常生活を送ることができるよう、必要な日常生活上の介護及び心身機能の維持回復並びに家族の心身の負担軽減を図れるよう事業を実施しました。</p>	<p>(1) ふれあい朝陽デイサービスセンターの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①5日開所、サービス時間5~7時間型、利用定員18名(介護利用者延べ2,334人) ②介護予防通所介護の実施(利用者延べ678人) ③季節ごとの行事等の実施開催 →お花見、七夕、納涼会、敬老会、クリスマス会、制作レク(桃の節句、端午の節句等) 作品展示会参加 など ④ボランティア、実習生及び職場体験等の受入れ(随時) →ボランティア延べ97名 ボランティア体験延べ6名 プログラム実習生延べ10名 <p>(2) 運営目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①機能訓練内容の強化による要介護高齢者等の自立生活の向上 →機能訓練 {ペダル漕ぎ、体操、階段昇降 筋力トレーニング(セラバンドなど)} ②積極的な職場体験、学生の受入れによる施設開放(延べ16名)

<p>障害福祉サービス</p>	<p>障害福祉サービス事業</p>	<p>障害者が在宅生活を継続する事が出来るよう、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生が可能となるよう、サービス提供・支援を行いました。</p>	<p>(1) 障害者支援センター岸和田市社協の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者総合支援法に基づく居宅介護、重度訪問介護、移動支援サービスの提供 ②サービス提供責任者 2.5 名配置を必要とする利用者の確保 (利用者数 90 名以上目標、利用者数 117 名)
<p>C S W</p>	<p>コミュニティソーシャルワーカー設置事業</p>	<p>市内の要援護者に対する個別支援や住民活動のコーディネートを行うほか、制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組みました。</p>	<p>(1) いきいきネット相談支援センターふれあい朝陽の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①相談ひろば「いこい」の実施（年 12 回、年間相談件数 133 人） ②CSW連絡協議会への参加 月 1 回参加 ③地域での戸別訪問、相談支援の実施（年間相談件数 417 件） ④地域住民活動との協働・支援 ⑤要援護者等に対する見守り・発見、相談から適切なサービスへの「つなぎ」が機能する体制づくり